

市内事業者の皆様へ

夏季のVOC排出削減にご協力をお願いします！

～夏場は気温が高く、特に有機溶剤が蒸発しやすい環境です～

VOC 対策にはメリットがあります！

ムダな蒸発を防いで原材料費削減



必要なとき以外はフタをしっかりと閉めましょう。



においが減ります！作業環境の改善

廃棄物容器の密閉

溶剤の染み込んだ廃棄物は常に密閉しましょう。



低VOC製品を選びましょう

＜印刷＞植物油タイプインキ

乾燥性・インキ特性は従来インキ以上、コストも改善。

固形分 50%	顔料 樹脂 助剤	固形分 50%	顔料 樹脂 助剤	固形分 50%	顔料 樹脂 助剤
植物油 30～40%	大豆油 20%以上	大豆油 20%以上	植物油 50%	植物油 50%	植物油 50%
芳香族 1%以下	芳香族 1%以下	芳香族 1%以下	芳香族 1%未満	芳香族 1%未満	芳香族 1%未満
アロマフリーインキ	大豆油インキ	大豆油インキ	ノンVOCインキ	ノンVOCインキ	ノンVOCインキ

＜塗装＞ハイソリッド塗料

既存設備の大幅な変更をせず、VOC 排出量を 3～6 割程度まで抑制。

＜めっき・金属表面洗浄＞水系洗浄剤

めっき品質に必要な部品洗浄度を見直し、水系洗浄剤へ代替。VOC 排出量を 5 割以上抑制。

◎埼玉県の実践メニュー

埼玉県 VOC 対策サポート事業

現地で VOC 濃度を測定し、作業状況を総合的に踏まえ、工程、原材料、VOC 使用施設の改善、回収・処理装置の設置などの助言を行います。

詳しくは埼玉県環境部大気環境課の HP をご覧ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0504/support.html>



なぜ、VOC対策が必要なのか？

VOC※¹(有機溶剤など)は、
有害な**光化学オキシダント**の
生成原因の一つです。

※¹ Volatile Organic Compounds
(揮発性有機化合物)



《光化学オキシダントの生成》



VOCは蒸発しやすく、大気に出ていくと太陽光を受けて光化学オキシダントを生成します。よく使われるVOCには、塗料やインキに使われるトルエンや、金属や機器の洗浄に使われるトリクレン（トリクロロエチレン）、塩化メチレン（ジクロロメタン）等があります。

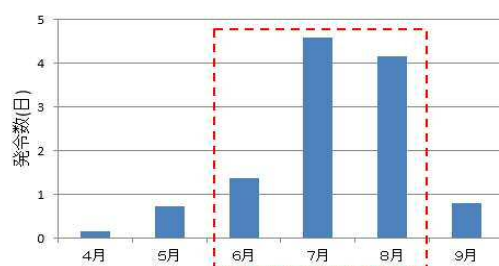
都内でも光化学オキシダントが原因と思われる目や喉への刺激や頭痛等の被害、屋外授業の中止等の報告がある年があります。VOCは他に浮遊粒子状物質（SPM）、微小粒子状物質（PM_{2.5}）の生成原因にもなります。

夏季におけるVOC排出削減の重要性

光化学スモッグ注意報※²は
夏季に多く発令されます。

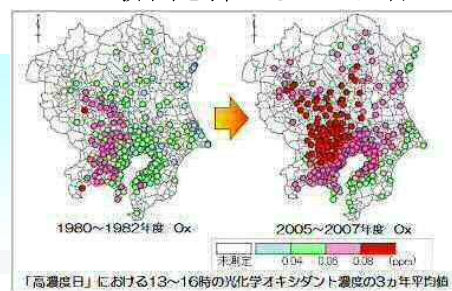
※² 光化学オキシダントが高濃度（120 ppb）となり、その継続が見込まれる場合に発令

光化学スモッグ注意報 月別発令状況
(平成12～30年/県南中部平均値)



光化学オキシダントが出来やすい気象条件は、①最高気温が25℃以上 ②日照があること ③風が弱いこと、等があります。これらの条件が揃う、夏季にVOCの排出を抑えることは特に重要です。

夏季における光化学オキシダントは
近年、**高濃度化・広域化**しています。



九都県市※で連携して、夏季のVOC削減に取り組んでいます

※ 本取組は、九都県市(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・横浜市・川崎市・千葉市・さいたま市・相模原市)における夏季のVOC対策の取組として位置づけています。

さいたま市環境局環境共生部環境対策課 大気交通係
住所 〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4
電話 048-829-1330 (直通) FAX 048-829-1991
HP:<https://www.city.saitama.jp/001/009/008/p002868.html>

(さいたま市のVOC対策を紹介しています)